

第 3 3 6 回 役 員 会 議 事 録 (要 録)

令和 3. 1. 2 6 (火) 1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 5 7

場 所 : 5 F 1 会 議 室

出席者	越智, 宮谷, 渡邊, 佐藤, 楯, 田中, 俵, 藤田, 上重 以上役員 9名
欠席者	
オブザーバー	栗栖, 野上, 木内, 小澤, フンク, 吉村, 岩永, 河原, 秀, 神谷, 藤原, 仁科, 小林, 高田, 西村, 竹内, 山本, 太呉
(前回議事要録の確認)	
(議事)	
1. 特別顧問の委嘱について ----- 別紙 1 (学長提案・説明)	
広島大学特別顧問規則に基づき, 不破 亨 氏, 富山 和彦 氏, 有本 建男 氏及び黒川 清氏を特別顧問として, 2021年4月1日から2023年3月31日の任期で委嘱したい旨, 提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。	
(報告)	
1. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について ----- 資料 1 (表理事 (財務・総務担当) 報告)	
国立大学法人評価委員会から通知があった令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について, 報告があった。	
2. ネーミングライツ事業における命名権者採用予定者の選定について ----- 資料 2 (田中理事 (霞地区・教員人事・広報担当) 報告)	
ネーミングライツ選考委員会において, ネーミングライツ事業の対象施設として「工学部講義棟B2 104講義室」及び「理学部E102講義室」を選定し, 併せて, 命名権者採用予定者として「株式会社 ディスコ」及び「マイクロンメモリ ジャパン合同会社」を選定した旨の報告があった。	
3. 令和3年度教員人事の選考について ----- 資料 3 (田中理事 (霞地区・教員人事・広報担当) (人事委員会委員長) 報告)	
令和3年度教員人事に関して, 学術院会議から適任者として報告のあった候補者16名について, 人事委員会で確認した結果, 妥当と認められるため, 任用手続を進めることとした旨の報告があった。	
4. 令和3年度教員人事 (特別事情) の選考について ----- 資料 4 (田中理事 (霞地区・教員人事・広報担当) (人事委員会委員長) 報告)	
令和3年度教員人事 (特別事情) に関して, 学術院会議から適任者として報告のあった候補者4名について, 人事委員会で確認した結果, 妥当と認められるため, 任用手続を進めることとした旨の報告があった。	

5. 令和3年度教員人事（特別事情）の人員措置について ----- 資料5
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

令和3年度教員人事（特別事情）に関して、学術院会議における審議結果を踏まえ人事委員会で検討した結果、戦略的人事として緊急かつ特別な事情と認められる2件について人員措置を行うこととした旨の報告があった。

6. 令和3年度教員人事（特別事情）の人員措置及び選考について ----- 資料6
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

令和3年度教員人事（特別事情）に関して、学術院会議における審議結果を踏まえ人事委員会で確認した結果、戦略的人事として緊急かつ特別な事情と認められる2件について人員措置を行うとともに、その任用手続を進めることとした旨の報告があった。

7. 令和3年度教員人事「育成助教（特別事情）」の人員措置及び選考について ----- 資料7
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

令和3年度教員人事「育成助教（特別事情）」に関して、学術院会議における審議結果を踏まえ人事委員会で確認した結果、1件について人員措置を行うとともに、その任用手続を進めることとした旨の報告があった。

8. 任期を定めて任用する教員の再任審査等について ----- 資料8
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

任期を定めて任用する教員の再任審査等に関して、学術院会議から報告のあった候補者27名について、人事委員会で検討した結果、再任の可否等の審査結果が妥当と認められるため、任用手続を進めることとした旨の報告があった。

9. 部局等経費で雇用する特任助教の選考について ----- 資料9
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

部局等経費で雇用する教員人事に関して、学術院会議から適任者として報告のあった候補者1名について、人事委員会で確認した結果、妥当と認められるため、任用手続を進めることとした旨の報告があった。

10. 育児休業代替教員の選考について ----- 資料10
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

育児休業を取得する教員の代替教員に関して、該当部局より適任者として報告のあった候補者1名の適否について、学術院会議における審議結果を踏まえ人事委員会で確認した結果、適任と認められるため、任用手続を進めることとした旨の報告があった。

11. 大学院人間社会科学研究所に配置する特任教授について ----- 資料11
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

令和3年度教員人事の選考に関して、学術院会議における審議結果を踏まえ人事委員会で確認した結果、戦略的人事として緊急かつ特別な事情と認められる1件について、任用手続を進めることとした旨の報告があった。

1 2. 大学院人間社会科学研究科に配置する特任助教について ----- 資料1 2
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

令和3年度教員人事の選考に関して、学術院会議における審議結果を踏まえ人事委員会で確認した結果、戦略的人事として緊急かつ特別な事情と認められる2件について、任用手続を進めることとした旨の報告があった。

1 3. 教員人件費ポイント使用状況及び教員の現員・促進区分達成状況について ---- 資料1 3
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

教員人件費ポイントの使用状況及び教員の現員・促進区分達成状況に関して、令和3年1月1日時点の数値の報告があり、教員の現員・促進区分(若手教員、女性教員、外国人教員等及び年俸制教員)に係る状況について、確認を行った。

また、人件費予算額とポイント総数等を検証した結果、2021年度以降の教員人件費ポイントの余剰予定が不足に転じる見込みとなった旨の報告があり、今後全学的に人件費を圧縮していく必要があるため、人事委員会の下に設置した「第4期中期目標期間の人件費管理及び人員配置検討WG」で検討を進めていく旨、併せて報告があった。

1 4. 新たな教員個人評価制度について(答申) ----- 資料1 4
(藤原副学長(学術院担当)説明)

学術院会議の下に設置した「P-I詳細検討WG」において、新たな教員個人評価制度等に関して、様々な観点から検討を行い、全学説明会等での構成員からの意見等も踏まえた「新たな教員個人評価制度等について(答申)～広島大学が躍進し教員が安心して挑戦できる環境づくりのために～」を取りまとめた旨、報告があった。

以上(資料添付略)